

エゾノキヌヤナギを用いた天蚕の早期掃立と大量飼育法

福島県蚕業試験場 養蚕部
平成10年度福島県蚕業試験場年報
分類コード 09-99-29000000
部門名 蚕糸-その他-作業技術

I 新技術の解説

1 要旨

本県において野生に生息する天蚕(ヤママユガ)は、年一回、5月上旬頃に卵が孵化し成長する。しかし、人為的に飼育する場合は、集約的・効率的飼育をする必要があるため、飼料樹がある程度生長するまで孵化を抑制し、5月下旬頃から飼育を開始するのが一般的である。

ところが、これまでの蚕業試験場における調査等によると天蚕繭の収量や品質は、飼育開始時期を5月上旬頃など、これまでよりやや早めにした方が良好となる傾向が認められている。

飼育開始時期の早期化については、飼料の確保が決定要因となるが、このほど、現在飼料樹となっているクヌギやコナラに対して、発芽・生育が早いエゾノキヌヤナギを用いた飼育法が確立した。

(1)エゾノキヌヤナギの発芽日:3月20日(クヌギ:4月22日)1997年 梁川町

(2)掃立可能月日:エゾノキヌヤナギを用いることで4月下旬(梁川町)からの掃立が可能である。

(3)天蚕繭の収量(結繭率×繭重):エゾノキヌヤナギを用いた早期掃立を行うことにより、クヌギに対して向上する。

(4)天蚕繭の品質(繭重):クヌギに対してエゾノキヌヤナギを用いることで向上する。

2 期待される効果

本技術の活用により、本県内の天蚕繭の高品質、多収、安定生産の実現が期待される。

3 適用範囲

県内一円

4 普及上の留意点

掃立日決定の目安は、当該地域のクヌギやコナラの発芽日を参考とする。アブラムシがつきやすいので、事前に防除を行う。

II 具体的データ等

第1表 エゾノキヌヤナギを用いた早期掃立飼育が天蚕繭の収量及び品質に及ぼす効果

飼料樹名	掃立月日	供試頭数	結繭頭数(a)	繭重(b)	収量(a×b)
エゾノキヌヤナギ	4月21日	100頭	86頭	7.54g	648.4g
エゾノキヌヤナギ	5月21日	100頭	64頭	5.51g	352.6g
クヌギ	5月21日	100頭	72頭	4.99g	359.3g

第2表 エゾノキヌヤナギを用いた早期掃立大量飼育試験結果

飼料樹名	掃立月日	供試頭数	結繭頭数(a)	繭重(b)	収量(a×b)
エゾノキヌヤナギ	4月21日	1,000頭	675頭	8.70g	5,872.5g

III その他

1 主要な参考文献・資料: (1)東北蚕糸研究報告(1998)

日本野蚕学会第4回大会講演要旨13

コウリュウによる天蚕の早期掃立